

ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年3月前半）

1. 経済

- 2015年2月の消費者信頼感指数は+1（前月は▲4）。（3日付中央銀行プレスリリース）
- 2015年2月のインフレ率は年率0.1%（前月は▲0.4%）。（4日付統計局プレスリリース）
- グランドレジオン（ルクセンブルクを中心とする白、仏、独の隣接地域）における物価比較調査の結果によると、同地域の平均を100とすると、ルクセンブルクは100.5、白は102.4、仏は96.2、独は91.7。（4日付ヴォルト紙電子版）
- Cushman & Wakefieldの「Office Space Across the World report」によると、ルクセンブルク市におけるオフィス費用は1㎡当たり648ユーロで、ロンドン（同1,595ユーロ）、パリ（同750ユーロ）に続き、EU第3位の高さ。世界では第14位。（4日付ヴォルト紙電子版）
- 米の人材コンサルタント会社Mercer社による生活の質調査によると、ルクセンブルク市は世界第19位で昨年と同順位。第1位はウィーン。（4日付ヴォルト紙電子版）
- 欧州司法裁判所、5日、ルクセンブルク及び仏による電子書籍への付加価値税の軽減税率適用は違法とする決定。ルクセンブルクは電子書籍に3%の超軽減税率を適用。（5日付ヴォルト紙電子版）

2. 金融

- ギヨーム皇太子同妃両殿下及びグラマーニャ財務相、金融ミッションを率いて1日から3日にかけてUAEを、4日及び5日にカタールをそれぞれ訪問。両国でのセミナーでは、欧州におけるイスラム金融センターとしてのルクセンブルクや、Fintechが主要議題となった。（3日及び5日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）

3. 政府

- シュナイダー副首相兼経済相及びハンセン高等教育・研究担当閣外相、2日から3日にかけてブリュッセル開催の競争担当相会合に出席。（2日付経済省コミュニケ）
- 仏オランダ大統領、6日にルクセンブルクを公式訪問。経済関係では、SES社を訪問したほか、ルクセンブルク大学の新キャンパスを建設中のエッシュ・ベルバル地区を訪問。（6日付政府公報）
- グラマーニャ財務相、仏大統領に同行してルクセンブルクを訪問したサパン

仏財務相及びエケルト仏予算担当長官と6日に会談。(9日付財務省コミュニケ)

●グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ(9日)及びEU財務相会合(10日)に出席。(6日付財務省コミュニケ)

●アンリ大公殿下、シュナイダー協力相、クロズナー経済担当閣外相、10日から12日にかけて経済ミッションを率いてカーボヴェルデを公式訪問。(10日付ヴォルト紙電子版)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。